

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	空家等対策推進事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市経営部			都市政策課						
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(3)老朽施設の再編とあわせたエリア再生					
	款	07	土木費								
	項	03	都市計画費								
	目	01	都市計画総務費		分野別計画	大東市空家等対策計画					
	事業	0100	空家等対策推進事業								
分類		I 類事業									
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
			○	○							

2. 内容

事業概要（全体）	空家等対策の推進に関する特別措置法及び大東市空家等対策計画（R4年度～R8年度の5年間）に基づき、地域の良好な生活環境の保全や都市の活力向上のために、総合的かつ計画的に空家等対策を推進する。		事業概要（今年度）	補助制度（隣接地等取得費補助・空家流通促進補助・老朽危険空家等除却補助）を実施するとともに、空家セミナー＆相談会及び空家等対策協議会を開催した。また、民間事業者と連携した空家相談窓口連携事業（ワンストップ窓口等）を試行的に導入した。	
スケジュール（全体）	・ H29年度 隣接地等取得費補助制度の施行 ・ H30年度 空家リフォーム補助制度の施行（※R7年度～制度統合） ・ R3年度 子育て世代空家リフォーム補助制度の施行（※R7年度～制度統合） ・ R5～R6年度 空家所有者への意向調査・意識啓発 ・ R7年度 空家流通促進補助制度（※）の施行 老朽危険空家等除却補助制度の施行 空家相談窓口連携事業（ワンストップ窓口等）の試行的導入 ・ R8年度 大東市空家等対策計画の改訂		スケジュール（今年度）	・ 4月～ 補助制度の実施 ・ 5月 広報だいつ5月号に補助制度案内記事の掲載 ・ 5月 空家等対策協議会の開催 ・ 8月 空家セミナー＆相談会の開催 ・ 1月 広報だいつ1月号に空家相談窓口連携事業案内記事の掲載 ・ 1月～ 空家相談窓口連携事業（ワンストップ窓口等）の試行的導入	
公民連携の視点	要件	☒ ア（複数課題解決） ☒ イ（地域価値向上） ☒ ウ（地域経済発展） ☒ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）			
	検討内容	空家等対策の推進は、空家等が要因となる景観悪化や防犯・防災上のリスク等の解決、空家等の適正管理による定住促進等、および空家等の利活用・流通促進を通じて本市内の事業活動の活性化に寄与することが期待される。このような背景のもと、試行的に導入する「空家相談窓口連携事業（ワンストップ窓口等）」は、前述の複数課題解決や地域価値向上、地域経済発展の端緒となり得るものであり、民間事業者との連携により実施されるため、本市の人的・財政的負担を削減する効果が見込まれる。			

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		306	
		委託料	0		3,905		0	
		使用料及び賃借料	0		14		8	
		工事請負費	0		0		5,918	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	2,246		1,043		2,400	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		2,246		4,962		8,632	
	財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	0		3,905		2,400	
		うち基金繰入金	0		3,905		2,400	
		一般財源	2,246		1,057		6,232	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,877	1.00	8,238	1.00	8,438
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		575		540		490
		その他		106		106		121
	人件費計（千円） b		8,558		8,884		9,049	
総事業費 a+b		10,804		13,846		17,681		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	隣接地等取得費補助金の申込件数	成果	令和7年度	件	目標	3	6	6
			6		実績	1	1	2
	指標の定義		補助金の交付申込があった件数					
指標②	空家流通促進補助金の申込件数	成果	令和7年度	件	目標	-	-	10
			10		実績	-	-	5
	指標の定義		補助金の交付申込があった件数					
指標③	老朽危険空家等除却補助金の申込件数	成果	令和7年度	件	目標	-	-	5
			5		実績	-	-	0
	指標の定義		補助金の交付申込があった件数					

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	市民の生活環境に深刻な影響を及ぼす危険性がある空家等に関わる問題は、人口減少・超高齢化社会の到来により、一層深刻化することが懸念される。そのため、問題解決に向け、今後も継続して本事業を推進していく。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	まちづくり調査検討事業
-----	-------------

1. 基礎情報

所属		都市経営部			都市政策課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(1)都市構造の改革				
	款	07	土木費							
	項	03	都市計画費							
	目	01	都市計画総務費		分野別計画	大東市都市計画マスタープラン				
	事業	0102	まちづくり調査検討事業			大東市住宅マスタープラン				
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○		
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○	○			○		○	

2. 内容

事業概要（全体）	住道駅周辺及び野崎駅周辺において、新たな賑わいを創出・維持発展させ、エリア価値の向上を実現させるために、地域課題を分析し、官民連携で戦略的なまちづくりに取り組む。	事業概要（今年度）	・住道駅周辺については、周辺エリアが持つポテンシャルを最大限に活かし、都市を再生させるための検討を行い、その成果を関係者と共有し理解を得ながら、一体的なまちづくりを推進した。 ・野崎駅周辺については、低未利用地など公共空間の利活用を検討し、社会実験を実施・検証を行った上で、エリア価値向上に向けた具体的な取組等の検討を行い、一体的なまちづくりを推進した。
スケジュール（全体）	・R5年度～ 野崎駅周辺のエリア価値向上に向けたまちづくり推進業務 ・R6年度～ 住道駅周辺のエリア価値向上に向けたまちづくり推進業務	スケジュール（今年度）	・4月～ 住道駅周辺エリア官民まちなか推進業務 ・8月～ 野崎駅周辺エリアの地域価値向上に向けたまちづくり推進業務
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☒ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	民間の視点に立った総合的・独創的な企画立案が求められるため、行政と民間等が役割を分担しながら公共空間を利用した地域活性化・賑わい創出に取り組む。	

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	14,157		11,056		15,626	
		使用料及び賃借料	0		0		9	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		14,157		11,056		15,635	
	財源内訳	国庫支出金	0		2,500		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	11,017		6,973		11,302	
		うち基金繰入金	8,105		6,973		8,302	
		一般財源	3,140		1,583		4,333	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	2.00	15,754	3.00	24,714	3.00	25,314
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		1,150		1,620		1,470
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		16,904		26,334		26,784	
総事業費 a+b		31,061		37,390		42,419		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	計画策定の進捗	活動	令和7年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	100	100	100
	指標の定義	計画策定の進捗割合						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	住道駅周辺では、R6年度に構築した官民の多様な人材が参画するエリアプラットフォームを中心に未来ビジョンを策定した。今後は、エリアプラットフォームの自走化を支援し、官民連携による具体的な取組と一体的なまちづくりを推進する。野崎駅周辺では、社会実験を通じて未来ビジョンを策定した。今後も引き続き、市営深野園住宅の建替えを契機としたエリア価値向上を目指し、低未利用地を活用したまちづくりの検討を進める。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業
-----	--------------------

1. 基礎情報

所属		都市経営部			都市政策課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	1危機管理の徹底(2) 減災の推進				
	款	07	土木費							
	項	03	都市計画費							
	目	01	都市計画総務費		分野別計画	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画				
	事業	0104	既存民間建築物耐震診断・改修補助事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画（H28年度～R7年度の10年間）に基づき、大地震から市民の生命や財産を守るために、住宅・建築物の耐震化を促進する。		事業概要（今年度）	補助制度（耐震診断・耐震設計・耐震改修工事・除却）及び大阪府まちなると耐震化支援事業登録事業者と連携した木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問を実施した。また、大東市住宅・建築物耐震改修促進計画を改訂した（R8年度～R17年度の10年間）。
スケジュール（全体）	・H20年度 耐震診断補助制度の施行 ・H22年度 耐震設計・耐震改修工事補助制度の施行 ・H30年度 地震ハザードマップの作成 ・R6年度～ 除却補助制度の施行 ・R6年度～ 木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問 ・R6年度 地震ハザードマップの修正 ・R7年度 大東市住宅・建築物耐震改修促進計画の改訂		スケジュール（今年度）	・4月～ 補助制度の実施 ・5月 広報だいとう5月号に補助制度案内記事の掲載 ・6月～ 木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問（～11月） ・7月～ 大東市住宅・建築物耐震改修促進計画改訂業務
公民連携の視点	要件	☒ ア（複数課題解決） ☒ イ（地域価値向上） ☒ ウ（地域経済発展） ☒ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	住宅・建築物の耐震化促進は、防災上のリスクの低減、定住促進等、および耐震化需要の高まりを通じて本市内の建設業等の活性化に寄与することが期待される。このような背景のもと、「大阪府まちなると耐震化支援事業登録事業者と連携した木造戸建て住宅の耐震化促進に係る戸別訪問」は、前述の複数課題解決や地域価値向上、地域経済発展の端緒となり得るものであり、民間事業者との連携により実施されるため、本市の人的・財政的負担を削減する効果が見込まれる。		

3. 事業費等

区分			令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (決算)	
事業費	内訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		17	
		需用費	0		0		36	
		役務費	0		0		0	
		委託料	0		998		5,973	
		使用料及び賃借料	9		0		0	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	8,550		18,400		10,230	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		8,559		19,398		16,256	
	財源内訳	国庫支出金	4,275		8,178		8,100	
		府支出金	187		1,600		561	
		市債	0		0		0	
		その他	0		997		3,023	
		うち基金繰入金	0		997		3,023	
		一般財源	4,097		8,623		4,572	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,877	1.00	8,238	1.00	8,438
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		575		540		490
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		8,452		8,778		8,928	
総事業費 a+b		17,011		28,176		25,184		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
住宅の耐震化	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	平成27年度 80%	令和7年度 95%	大東市住宅・建築物耐震改修促進計画

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	耐震診断補助金の申込件数	成果	令和7年度	戸	目標	30	30	30
			30		実績	15	84	14
	指標の定義		補助金の交付申込があった件数					
指標②	耐震設計・改修補助金の申込件数	成果	令和7年度	戸	目標	①4②5	①4②5	①4②5
			①4②5		実績	①0②0	①4②4	①1②2
	指標の定義		①設計補助金②改修補助金の交付申込があった件数					
指標③	除却補助金の申込件数	成果	令和7年度	戸	目標	55	55	55
			55		実績	24	34	28
	指標の定義		補助金の交付申込があった件数					

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	R6年度に引き続き戸別訪問を実施したことにより、実施前と比べ耐震診断の申込件数が増加傾向にあることは、一定の成果があったと言える。しかし、耐震診断後、すべての方が耐震改修に至っているわけではないため、今後も継続して耐震化に向けた本事業を推進していく。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	景観形成推進事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市経営部			都市政策課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	03	都市計画費							
	目	01	都市計画総務費		分野別計画	大東市景観計画				
	事業	0107	景観形成推進事業							
分類	I 類事業									
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	景観計画及び景観条例に基づき、市民が愛着や誇りを感じることができるように、本市が持つ特性と地域資源を活かした良好な景観の形成を推進する（H31年度から事業実施）。	事業概要（今年度）	建築等の行為の事前の相談や事前協議等を行う際に、専門的な知識・経験を有するアドバイザーにより構成される景観アドバイザー会議の制度を活用することで、より質の高い建築物等のデザインを誘導した。
スケジュール（全体）	・ H31年度 景観行政団体へ移行 ・ R元年度 景観計画・景観条例の施行 ・ R3年度 景観アドバイザー会議の設置	スケジュール（今年度）	・ 7月 第1回景観アドバイザー会議の開催 ・ 9月 第2回景観アドバイザー会議の開催 ・ 1月 第3回景観アドバイザー会議の開催
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	大東市公民連携に関する条例第2条の規定に該当する項目がないため。	

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内訳	報償費	57		76		76	
		旅費	2		2		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	0		0		0	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		59		78		76	
	財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	0		0		0	
		うち基金繰入金	0		0		0	
		一般財源	59		78		76	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	1.00	7,877	1.00	8,238	1.00	8,438
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		575		540		490
		その他		53		61		0
	人件費計（千円） b		8,505		8,839		8,928	
	総事業費 a+b		8,564		8,917		9,004	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	「景観に配慮したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	44	50	54
			54		実績	40.9	38.3	36.5
	指標の定義		市民アンケートで「景観に配慮したまち」に対し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合					
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	景観規則に基づき、景観アドバイザーから専門的な助言・指導を得ることで、良好な景観の形成に向けた取組が実現できた。今後も継続して本制度を活用する。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	がけ地近接等危険住宅移転補助事業
-----	------------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			開発指導課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	1危機管理の徹底(2) 減災の推進				
	款	07	土木費							
	項	03	都市計画費							
	目	01	都市計画総務費		分野別計画	国土強靱化地域計画				
	事業	0108	がけ地近接等危険住宅移転補助事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	本市では「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」を目標に、市民が笑顔で安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに資するため、がけ地の崩落等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域に存する住宅の移転を促進するため、その住宅の除却等に要する経費及びその住宅に代わる住宅の建設に要する経費の一部を補助するものである。		事業概要（今年度）	広報誌やホームページ等のSNSを活用し、令和6年度に行った補助額の拡充等、補助制度の周知を図り、申し込みを募った。
スケジュール（全体）	・ 令和2年1月 大東市崖地近接等危険住宅移転事業補助金交付要綱作成 ・ 令和2年度 申込募集 ・ 令和3年度 申込募集 ・ 令和4年度 申込募集 ・ 令和5年度 申込募集 大東市崖地近接等危険住宅移転事業補助金交付要綱改正 ・ 令和6年度 申込募集（補助制度拡充） ・ 令和7年度 申込募集		スケジュール（今年度）	・ 4月～ 補助金の申込受付開始 ・ 補助制度に伴う広報活動
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	補助金事業であるため、公民連携手法にはそぐわない。		

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	0		0		0	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		0		0		0	
	財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	0		0		0	
		うち基金繰入金	0		0		0	
一般財源		0		0		0		
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.23	1,812	0.23	1,895	0.23	1,941
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		132		124		113
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		1,944		2,019		2,054	
総事業費 a+b			1,944		2,019		2,054	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 24.7%	令和7年度 54%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	補助制度の周知	活動	令和7年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	100	100	100
	指標の定義		補助対象とされる土砂災害特別警戒区域内にある戸建住宅のうち、補助制度の周知がなされている割合					
指標②	補助利用件数	成果	令和7年度	件	目標	1	1	1
			1		実績	0	0	0
	指標の定義		がけ地近接等危険住宅移転事業補助金の交付申込があった件数					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	申込には至らなかったが、補助内容等の周知活動を行った結果、窓口相談等もあり、住宅移転の意識醸成に寄与した。今後は、より情報を伝わりやすい形で提供するために、ホームページやチラシを修正し、チラシ配布時期の見直しを行う。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	地域公共交通事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			交通政策課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	02	道路橋りょう費							
	目	06	交通安全対策費		分野別計画	大東市公共交通基本計画				
	事業	0102	地域公共交通事業							
分類	I 類事業									
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○						
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○	○							

2. 内容

事業概要（全体）	・市内において公共交通（コミュニティバス、乗合タクシーなど）を運行し、交通利便性を確保する。 ・公共交通に関する調査を行い、路線網のあり方や移動手段の確保策について検討する。	事業概要（今年度）	・市域全体の公共交通の検討に関わる調査の実施。 ・コミュニティバス及び乗合タクシーを運行するための費用を支出した。 ・民間バス路線である阪奈生駒線の運行を維持するための補助金を交付した。
スケジュール（全体）	R7～ ・東部地域乗合タクシー等継続的な運行方法の改良検討 ・ニュースレター発行やHPの更新、モビリティマネジメントなど利用促進を行う ・市域全体の公共交通の検討に関わる調査の実施や検討 R12まで ・大東市公共交通基本計画の施策検証、見直しなど	スケジュール（今年度）	●地域公共交通事業 ・5月～ 東部地域乗合タクシー及び南部地域コミュニティバスの運行事業者選定 ・11月～ 公共交通に関する市民意向調査 ・随時 公共交通体系の検討 乗合率向上に向けた運行方法の改良検討 地域公共交通会議開催
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	地域公共交通事業は、市域全域の公共交通の在り方について協議等を行い各地域の現状に即した公共交通を実施している。市が運行する公共交通については、民間バス事業者など、採算の取れない地域を運行しているため公民連携事業にそぐわない。	

3. 事業費等

区分			令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (決算)
事業費	内訳	報償費	0	0	0
		旅費	0	0	0
		需用費	320	35	739
		役務費	460	0	0
		委託料	2,772	1,309	2,466
		使用料及び賃借料	11	14	11
		工事請負費	0	0	0
		公有財産購入費	0	0	0
		備品購入費	0	0	0
		負担金補助及び交付金	102,789	83,570	85,716
		扶助費	0	0	0
		補償補填及び賠償金	0	0	0
		その他	0	0	0
		事業費計(千円) a	106,352	84,928	88,932
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0
		府支出金	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	20,376	6,054	3,435
		うち基金繰入金	20,376	5,444	3,106
		一般財源	85,976	78,874	85,497
人件費	内訳	正職員(人・千円)	2.25 17,723	2.80 23,066	2.60 21,939
		再任用職員(人・千円)	0.00 0	0.00 0	0.00 0
		任期付職員(人・千円)	0.00 0	0.00 0	0.00 0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.10 201	0.40 1,010	0.50 1,358
		退職手当引当金繰入額	1,294	1,512	1,274
		その他	91	91	265
		人件費計(千円) b	19,309	25,679	24,836
	総事業費 a+b		125,661	110,607	113,768

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	コミュニティバス利用客数	成果	令和7年度	人	目標	161,200	179,000	180,000
			180,000		実績	175,010	180,187	187,254
	指標の定義		利用客数					
指標②	乗合タクシー利用客数	成果	令和7年度	人	目標	2,900	3,200	3,600
			3,600		実績	3,385	3,607	4,220
	指標の定義		利用客数					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和7年度は、17件329,000円のコミュニティバス等の協賛があり、財政負担の軽減に寄与した。コミュニティバスの利用者は、昨年度と比較して増加傾向にある。今後も、利用促進策を通じて利用者数の更なる増加を図る。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	放置自転車対策事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			交通政策課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	02	道路橋りょう費							
	目	07	自転車対策費		分野別計画					
	事業	0100	放置自転車対策事業							
分類		Ⅱ 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	大東市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、JR3駅（住道・野崎・四条畷）周辺の自転車等放置禁止区域内において、市道等の通行環境を保持し、通行者の安全や駅前景観を確保する。	事業概要（今年度）	・ 放置自転車の所持者に対する啓発指導（放置自転車等に対する警告札の貼り付けなど）。 ・ 放置自転車等を放置禁止区域内から保管所まで移送。 ・ 保管所に収容された放置自転車等の返還及び移送保管費用の徴収。
スケジュール（全体）	毎年、年間を通じて放置自転車等の街頭啓発業務、移送業務、保管返還業務を実施することにより、駅周辺の良好な通行環境を維持する。	スケジュール（今年度）	通年 ・ 自転車等放置禁止区域内での街頭啓発業務や移送業務の実施 ・ 自転車保管所を開所し、自転車等の返還業務の実施
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	放置自転車等の撤去に関しては、啓発・警告札、移送、保管・返還という流れになる。収入の面では返還業務のみであり、他の業務（啓発、移送）を賄うことができないので、公民連携事業にそぐわない。	

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	23,335		23,820		23,010	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
		事業費計（千円） a		23,335		23,820		23,010
	財 源 内 訳	国庫支出金	0		0		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	1,382		1,872		2,042	
		うち基金繰入金	0		0		0	
		一般財源	21,953		21,948		20,968	
人件費	内 訳	正 職 員（人・千円）	0.54	4,254	0.60	4,943	0.60	5,063
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.25	502	0.35	883	0.25	679
		退職手当引当金繰入額		311		324		294
		その他		0		0		0
		人件費計（千円） b		5,067		6,150		6,036
	総事業費 a+b		28,402		29,970		29,046	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	放置自転車の減少	成果	令和7年度	台	目標	1,100	1,250	1,300
			1,300		実績	1,210	1,134	1,116
	指標の定義	撤去した放置自転車等の台数						
指標②					目標			
					実績			
	指標の定義							
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	放置自転車撤去数は減少傾向にある。今後も、駅周辺の良好な通行環境と駅前景観を確保するため、街頭啓発及び移送業務を継続して実施する。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	橋梁長寿命化等修繕事業
-----	-------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			道路課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	1危機管理の徹底(3)災害時における安心の確保				
	款	07	土木費							
	項	02	道路橋りょう費							
	目	02	道路維持費		分野別計画					
	事業	0100	橋梁長寿命化等修繕事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修を実施し、維持管理費用の縮減を図る。		事業概要（今年度）	・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁補修設計業務委託を行った。また、管理橋梁の不具合箇所の補修工事を行った。 ・管理橋梁の定期点検調査業務を実施した。
スケジュール（全体）	- 市管理橋梁の修繕 - 市管理橋梁の点検(5年以内に1回)		スケジュール（今年度）	- 工事完了 深北大橋橋梁補修工事(10月) 楠公橋橋梁補修工事(12月) - 委託完了 谷川2号線1号橋橋梁補修設計業務委託(3月) 南新田3号線1号橋橋梁補修設計業務委託(3月) 住道駅前広場橋及び住道駅前大橋詳細設計業務委託(3月) 橋梁定期点検調査業務委託(3月)
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	橋梁長寿命化事業については、橋梁の補修工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。		

3. 事業費等

区分			令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (決算)	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	5,519		25,107		25,445	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	5,883		56,978		62,846	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	28,483		0		12,050	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		39,885		82,085		100,341	
	財 源 内 訳	国庫支出金	8,129		5,060		14,602	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		3,600		5,800	
		その他	31,754		73,424		0	
		うち基金繰入金	31,754		73,424		0	
		一般財源	2		1		79,939	
人 件 費	内 訳	正 職 員（人・千円）	0.65	5,120	0.65	5,355	0.95	8,016
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		374		351		466
		その他		0		0		0
		人件費計（千円） b		5,494		5,706		8,482
	総事業費 a+b		45,379		87,791		108,823	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 24.7%	令和7年度 54%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和7年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	90	92	93
	指標の定義		単年度における事業の達成率					
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	42.3	48.1	54
			54		実績	39.3	34.5	34.9
	指標の定義		「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和7年度に予定していた事業については、概ね予定通りに進捗した。 管理橋梁の老朽化により維持補修費の増加が見込まれるため、長寿命化計画に基づき補修工事を実施することで、維持管理費の平準化に努める。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	道路新設改良事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			道路課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	02	道路橋りょう費							
	目	03	道路新設改良費		分野別計画					
	事業	0100	道路新設改良事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
				○						
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	円滑な通行と安全の確保のため、道路拡幅、交差点改良や歩道改良等に伴う、設計や工事を実施する。	事業概要（今年度）	・市道の改良に必要な用地取得、設計委託及び道路拡幅工事等を行った。
スケジュール（全体）	・一時避難地である中垣内浜公園へのアクセス性を向上させるため、現在、西行き一方通行規制の市道を対面通行ができる2車線の道路に整備を行う。 ・市の主要施策である野崎駅周辺整備事業で、整備すべき路線として位置づけられている駅周辺道路での歩行者の安全性の向上を図る整備を行う。	スケジュール（今年度）	・工事完了 諸福中垣内線舗装工事他2件(10月) 片町線附属街路南側2号線歩道改良工事(11月) 寺川三丁目地内床版補修工事(12月) 住道停車場線舗装工事(2月) 深野小学校南側線道路改良(その1)工事(3月) ・委託完了 深野小学校南側線道路詳細設計業務(その2)委託、谷川2号線取付道路設計業務委託、御領東1号線水路蓋掛設計業務委託他2件(3月) 野崎深野線交差点詳細設計業務委託(繰越) ・土地売買契約完了 [現年]R7 8月 1件 [繰越]R6 7月 2件 ・建物移転補償契約完了 [現年]R7 8月 1件 [繰越]R6 7月 3件
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）	
	検討内容	道路新設改良事業は道路の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。	

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	39		87		1	
		役務費	0		0		0	
		委託料	22,002		50,262		56,060	
		使用料及び賃借料	9		9		8	
		工事請負費	120,800		99,343		107,140	
		公有財産購入費	270		6,775		10,109	
		備品購入費	171		0		0	
		負担金補助及び交付金	48,759		3,626		18,395	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	3,690		27,680		22,916	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		195,740		187,782		214,629	
	財 源 内 訳	国庫支出金	15,892		18,480		14,100	
		府支出金	0		0		0	
		市債	14,000		16,300		12,500	
		その他	165,843		152,997		0	
		うち基金繰入金	165,843		152,997		0	
		一般財源	5		5		188,029	
人 件 費	内 訳	正 職 員（人・千円）	1.40	11,028	1.70	14,005	1.90	16,032
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		805		918		931
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		11,833		14,923		16,963	
	総事業費 a+b		207,573		202,705		231,592	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和7年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	62	64	93
	指標の定義		単年度における事業の達成率					
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	25.4	28.7	32
			32		実績	19.1	17	16.4
	指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和7年度に予定していた道路工事及び設計委託については、概ね予定通りに進捗し、既存道路の安全・安心や防災拠点へのアクセス向上に寄与した。 市道の改良に必要となる用地取得については、地権者との交渉に時間を要し、1件のみの契約となったが、今後も地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努める。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	北条踏切改良事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			道路課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	02	道路橋りょう費							
	目	03	道路新設改良費		分野別計画					
	事業	0101	北条踏切改良事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	北条踏切は、幅員が狭く歩行空間も確保できていないため、車両と歩行者が接触する危険性が高くなっており、この状態を解消するため、踏切の拡幅を行い歩行空間を確保する。		事業概要（今年度）	事業の実施に伴い、土地所有者の調査などを行った。
スケジュール（全体）	～令和15年		スケジュール（今年度）	法定相続人調査業務完了(1月)
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	北条踏切改良事業は踏切拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。		

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内訳	報償費	0		0		1,100	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	0		500		0	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		0		500		1,100	
	財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	0		500		0	
		うち基金繰入金	0		500		0	
		一般財源	0		0		1,100	
人件費	内訳	正 職 員（人・千円）	0.25	1,969	0.25	2,060	0.25	2,110
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		144		135		123
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		2,113		2,195		2,233	
総事業費 a+b			2,113		2,695		3,333	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	事業達成率（事業費ベース）	活動	令和15年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	28	28	28
	指標の定義		当該踏切改良事業の令和15年度までの事業達成率					
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	25.4	28.7	32
			32		実績	19.1	17	16.4
	指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	相続人になり得る法定相続人の調査に時間を要し、境界確定の実施に至らなかった。今後は調査により把握できた相続人と交渉を行い、早期の用地取得に努める。また、踏切拡幅が完了するまでの歩行者の安全性を確保する暫定処置であるグリーンベルトの設置について、JRとの協議を進め踏切内にグリーンベルトの設置を行い、歩行者の安全性の確保に努める。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	東部地域道路整備事業
-----	------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			道路課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	02	道路橋りょう費							
	目	03	道路新設改良費		分野別計画					
	事業	0102	東部地域道路整備事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	狭小な道路やアクセス性を改善することにより、東部地域全体の利便性向上を図る。		事業概要（今年度）	・過年度に実施した土地調査をもとに、道路詳細設計を行った。
スケジュール（全体）	【実施期間】 平成31年度～		スケジュール（今年度）	・委託完了 七ツ橋北尾崎線道路詳細設計業務委託(3月)
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	東部地域道路整備事業は本市東部エリアの道路拡幅等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。		

3. 事業費等

区分			令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (決算)	
事業費	内訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	500		500		5,366	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	0		0		0	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計(千円) a		500		500		5,366	
	財源内訳	国庫支出金	0		0		0	
		府支出金	0		0		0	
		市債	0		0		0	
		その他	499		499		5,365	
		うち基金繰入金	499		499		5,365	
		一般財源	1		1		1	
人件費	内訳	正職員(人・千円)	0.50	3,939	0.30	2,471	0.30	2,531
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		288		162		147
		その他		0		0		0
	人件費計(千円) b		4,227		2,633		2,678	
総事業費 a+b		4,727		3,133		8,044		

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	単年度達成率（事業費ベース）	活動	令和7年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	21	100	100
	指標の定義		単年度における事業の達成率					
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	25.4	28.7	32
			32		実績	19.1	17	16.4
	指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	本市の東部地域に位置する道路の安全・安心や利便性の向上に寄与するため、地元自治会と協議を重ね、地元自治会の要望に応える成果品に仕上げる事ができた。当該事業を進めるには、事業用地の取得(買収)など課題もあるが、今後も狭小な道路やアクセス性を改善することで東部地域全体の利便性向上を図っていく。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	深野北谷川線新設事業
-----	------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			道路課					
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	03	都市計画費							
	目	05	深野北谷川線新設費		分野別計画					
	事業	0100	深野北谷川線新設事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	本市の南北を結ぶ幹線道路として、また広域避難地である大東中央公園へのアクセス道として重要な役割を担っている都市計画道路深野北谷川線の整備を行う。		事業概要（今年度）	- 引き続き事業用地取得に向けた、土地鑑定や建物補償算定を行った。 - 歩道幅員の変更に伴い橋梁詳細修正設計を行った。 - 橋台の整備に伴い仮設道路の整備を行った。
スケジュール（全体）	【実施期間】 平成28年度～令和11年度		スケジュール（今年度）	- 委託完了 深野北谷川線道路整備に伴う土地鑑定評価業務委託（10月） - 深野北谷川線道路整備に伴う物件調査等業務委託、深野北谷川線橋梁詳細修正設計業務委託（3月） - 工事完了 深野北谷川線仮設道路整備工事（3月） - 物件補償契約完了 R8 2月 1件
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	深野北谷川線新設事業は都市計画道路深野北谷川線の新設工事等のハード整備のみの事業であり、民間事業者の創意工夫やアイデアを活かして、ソフト事業を実施して頂くフィールドを提供することが困難であることから、公民連携にはなじまない。		

3. 事業費等

区分			令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (決算)	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	29,176		24,348		29,123	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	6,592		22,714		9,081	
		公有財産購入費	17,875		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	8,924		0		3,718	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		62,567		47,062		41,922	
	財 源 内 訳	国庫支出金	10,713		0		3,050	
		府支出金	0		0		0	
		市債	9,700		0		2,700	
		その他	42,151		47,061		0	
		うち基金繰入金	42,151		47,061		0	
		一般財源	3		1		36,172	
人 件 費	内 訳	正 職 員（人・千円）	1.10	8,665	1.10	9,062	1.10	9,282
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		633		594		539
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		9,298		9,656		9,821	
	総事業費 a+b		71,865		56,718		51,743	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	事業達成率（事業費ベース）	活動	令和11年度	%	目標	100	100	100
			100		実績	16	17	19
	指標の定義		当該事業の完成までの事業達成率					
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	25.4	28.7	32
			32		実績	19.1	17	16.4
	指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	令和7年度に予定していた用地取得については、地権者との交渉に時間を要し、契約に至らなかった。整備スケジュールも決まっているため、地権者に対し事業の趣旨を説明し理解して頂くことで、早期の用地取得に努め、安全・安心な道路機能の向上、防災拠点へのアクセス向上に向け、事業を実施していく。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	都市公園再整備事業
-----	-----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		みどり課						
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用				
	款	07	土木費							
	項	03	都市計画費							
	目	02	公園管理費		分野別計画	大東市緑の基本計画				
	事業	0101	都市公園再整備事業			都市公園再整備計画				
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○							

2. 内容

事業概要（全体）	大東市緑の基本計画、大東市公共施設等個別施設計画、大東市都市公園再整備計画等に基づき、開設より20年以上が経過した都市公園について、老朽化した施設のリニューアルや地域のニーズに応じた特色ある公園づくりを行うもの。		事業概要（今年度）	川中新町西公園の基本設計や、新田東公園、御領公園の実施設計業務、大東中央公園駐車場改良等工事、西楠の里公園の再整備等、地域のニーズに応じた再整備を進めた。	
スケジュール（全体）	(再整備) ・老朽化の進んでいる15公園を令和4年度より10箇年で再整備を行う。 (駐車場) ・駐車場整備の利用状況等を確認し、令和7年度以降、管理許可により事業者が駐車場の運営管理を行う。道路整備事業の進捗により、大東中央公園駐車場の出入口切替等工事を行う。		スケジュール（今年度）	・西楠の里公園再整備工事 3月 完了 ・大東中央公園駐車場改良等工事 3月 完了 ・川中新町西公園基本設計 3月 完了 ・新田東公園実施設計 3月 完了 ・御領公園実施設計 3月 完了	
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☒ イ（地域価値向上） ☒ ウ（地域経済発展） ☒ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）			
	検討内容	供用より長い年月を経た公園の再整備や、管理許可により事業者が公園駐車場の運営管理を行うなど民間の有するノウハウ等を取り入れ、より魅力的な公園になるように事業を行う。			

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		1	
		委託料	18, 106		3, 527		11, 522	
		使用料及び賃借料	0		0		12	
		工事請負費	51, 171		122, 873		133, 716	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		2, 403	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		69, 277		126, 400		147, 654	
	財 源 内 訳	国庫支出金	46, 279		21, 920		15, 780	
		府支出金	0		0		0	
		市債	3, 600		19, 700		14, 200	
		その他	3, 450		80, 389		110, 604	
		うち基金繰入金	3, 450		80, 389		110, 604	
		一般財源	15, 948		4, 391		7, 070	
人 件 費	内 訳	正 職 員（人・千円）	1. 80	14, 179	1. 90	15, 652	1. 70	14, 345
		再任用職員（人・千円）	0. 00	0	0. 00	0	0. 00	0
		任期付職員（人・千円）	0. 00	0	0. 00	0	0. 00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0. 00	0	0. 00	0	0. 00	0
		退職手当引当金繰入額		1, 035		1, 026		833
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		15, 214		16, 678		15, 178	
	総事業費 a+b		84, 491		143, 078		162, 832	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 24.7%	令和7年度 54%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	再整備の公園数（45公園）	活動	令和13年度	公園	目標	1	3	4
			15		実績	1	2	4
	指標の定義		再整備を実施することとしている公園のうち、整備工事が完了した公園数					
指標②	「公園整備が充実したまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	53	57.5	62
			62		実績	50.4	46.2	47.3
	指標の定義		市民アンケートで「公園整備が充実したまち」に対し、「とてもそう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取り組みなど

自己点検	予定していた事業については、概ね予定通り設計・工事を進めた。 地域のニーズに応じた再整備を行うため関係者と調整を図り、魅力ある公園・施設整備に努める。
------	--

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業
-----	----------------

1. 基礎情報

所属		都市整備部			駅周辺整備課						
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	2エリアの価値を高める都市整備と都市空間の創出(4)都市空間の活用					
	款	07	土木費								
	項	03	都市計画費								
	目	23	野崎駅・四条畷駅周辺整備費			分野別計画	大東市都市計画マスタープラン				
	事業	0100	野崎駅・四条畷駅周辺整備事業								
分類		I 類事業									
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等	
											○
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし	
			○								

2. 内容

事業概要（全体）	本市には鉄道駅が3駅あり、うち「JR住道駅」の周辺においては、以前より重点的に整備を進めてきたが、今後は市東北部の振興を図るため、「JR野崎駅」「JR四条畷駅」の周辺整備に着手する必要がある。そのため、2駅周辺で特色ある魅力的な整備を行う。		事業概要（今年度）	・ 四条畷駅前東線道路整備工事 ・ 四条畷駅前東線電線共同溝2期工事	
スケジュール（全体）	【実施期間】 平成25年度～令和14年度		スケジュール（今年度）	・ 四条畷駅前東線道路整備工事 工事期間 令和6年12月～令和8年6月（繰越） ・ 四条畷駅前東線電線共同溝2期工事 工事期間 令和7年6月～令和8年7月（繰越）	
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）			
	検討内容	本事業は、市東北部の振興と利便性の向上を図るため、JR野崎駅及びJR四条畷駅の周辺整備を行うものである。本事業は自由通路・道路・立体駐輪場等のインフラ整備が主な施策となっており、民間の有するノウハウ等を活かすことが出来ない。よって、本事業における公民連携手法の導入は不可能。			

3. 事業費等

区分			令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (決算)	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	33		53		16	
		需用費	996		844		1,343	
		役務費	1,127		410		697	
		委託料	44,989		27,008		32,351	
		使用料及び賃借料	32,535		33,328		33,327	
		工事請負費	405,266		143,994		424,028	
		公有財産購入費	0		150,448		0	
		備品購入費	11		0		0	
		負担金補助及び交付金	61,603		212,188		7	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	121,004		20,274		153,190	
		その他	0		160		0	
		事業費計(千円) a		667,564		588,707		644,959
	財 源 内 訳	国庫支出金	200,398		92,900		59,900	
		府支出金	0		0		0	
		市債	343,200		256,500		327,000	
		その他	123,958		239,298		0	
		うち基金繰入金	123,958		239,298		0	
		一般財源	8		9		258,059	
人 件 費	内 訳	正 職 員 (人・千円)	5.00	39,385	5.00	41,190	5.00	42,190
		再任用職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員(人・千円)	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員(人・千円)	1.00	2,006	0.00	0	0.50	1,358
		退職手当引当金繰入額		2,875		2,700		2,450
		その他		31		0		0
		人件費計(千円) b		44,297		43,890		45,998
	総事業費 a+b		711,861		632,597		690,957	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 15.4%	令和7年度 32%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	野崎駅・四条畷駅周辺整備における進捗率	活動	令和14年度	%	目標	81.3	90.6	91.8
			100		実績	79	84.9	91.3
	指標の定義		総事業費ベースに対する進捗率					
指標②	「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	25.4	28.7	32
			32		実績	19.1	17	16.4
	指標の定義		「快適な歩行者・自転車走行空間が確保されたまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	四條畷駅前東線道路整備および電線共同溝2期工事については、年度内の完成に向け鋭意取り組みを進めてきたが、年度内での工事完成が困難となった。次年度においては、更なる進捗管理の徹底と関係機関との調整を行い、早期完成に努めていく。
------	---

実施計画事業調書

令和7年度（決算）

街づくり分科会B

事業名	都市浸水対策事業
-----	----------

1. 基礎情報

所属		都市整備部		水政課						
予算科目	会計	01	一般会計		総合戦略	1危機管理の徹底(3)災害時における安心の確保				
	款	07	土木費							
	項	05	河川費							
	目	03	都市浸水対策費		分野別計画	大東市地域防災計画				
	事業	0100	都市浸水対策事業							
分類		I 類事業								
関連するSDGs 17の目標		1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
		10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
			○		○					

2. 内容

事業概要（全体）	集中豪雨等による浸水被害を軽減するために、効果的な雨水流出抑制施設（貯留施設）を市内の小中学校に整備するものである。		事業概要（今年度）	・大東中学校校庭貯留浸透施設整備工事を実施
スケジュール（全体）	校庭貯留浸透施設整備工事（予定） R7 大東中学校 R9 深野小学校 R11 諸福小学校 R13 泉小学校 R15 三箇小学校 R17 四条小学校		スケジュール（今年度）	・大東中学校校庭貯留浸透施設整備工事 6月：入札・業者決定 7月：工事開始 12月：工事完了
公民連携の視点	要件	☐ ア（複数課題解決） ☐ イ（地域価値向上） ☐ ウ（地域経済発展） ☐ エ（公的負担軽減） ☐ オ（自立的・持続可能）		
	検討内容	本事業については、収益が見込まれない事業であるため導入は不可である。		

3. 事業費等

区分			令和５年度 （決算）		令和６年度 （決算）		令和７年度 （決算）	
事業費	内 訳	報償費	0		0		0	
		旅費	0		0		0	
		需用費	0		0		0	
		役務費	0		0		0	
		委託料	424		7,480		329	
		使用料及び賃借料	0		0		0	
		工事請負費	67,123		0		106,406	
		公有財産購入費	0		0		0	
		備品購入費	0		0		0	
		負担金補助及び交付金	0		0		0	
		扶助費	0		0		0	
		補償補填及び賠償金	0		0		0	
		その他	0		0		0	
	事業費計（千円） a		67,547		7,480		106,735	
	財 源 内 訳	国庫支出金	14,000		1,000		16,000	
		府支出金	0		0		0	
		市債	25,200		1,800		28,800	
		その他	13,059		0		0	
		うち基金繰入金	13,059		0		0	
		一般財源	15,288		4,680		61,935	
人 件 費	内 訳	正 職 員（人・千円）	0.50	3,939	0.50	4,119	0.50	4,219
		再任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		任期付職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		会計年度任用職員（人・千円）	0.00	0	0.00	0	0.00	0
		退職手当引当金繰入額		288		270		245
		その他		0		0		0
	人件費計（千円） b		4,227		4,389		4,464	
	総事業費 a+b		71,774		11,869		111,199	

4. 事業評価

(1) 関連する施策KPI

KPIの名称	設定した計画名	計画策定時	目標値	出典
「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	第2期大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略	令和2年度 24.7%	令和7年度 54%	市民アンケート

(2) 評価指標

	指標名	区分	目標年次	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
			目標値					
指標①	市内小中学校校庭貯留施設の整備率	活動	令和17年度	%	目標	65	65	70
			100		実績	65	65	70
	指標の定義		市内小中学校校庭貯留施設整備を行う予定の全20校のうち、整備が完了した箇所数					
指標②	「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度	成果	令和7年度	%	目標	42.3	48.1	54
			54		実績	39.3	34.5	34.9
	指標の定義		「災害等に対して安全・安心なまち」に対する市民満足度					
指標③					目標			
					実績			
	指標の定義							

5. 総括 ※事業の成果、課題、課題解決・目標達成に向けた取組みなど

自己点検	予定どおり大東中学校校庭貯留浸透施設の整備が完了した。 今後も集中豪雨等による浸水被害を軽減するため、校庭貯留浸透施設の整備に努める。
------	--